

高齢運転者を対象とした先進的自動車保険の利用による効果分析

◆発表者: 豊田都市交通研究所 楊 甲 主席研究員(自己紹介を図1参照)

《発表概要》

皆さんは先進的自動車保険をご存じでしょうか。これは近年、国内販売開始された自動車の位置情報に基づく先端的な情報通信技術を活用した保険サービスです。そのうち、テレマティクス保険、ドライブレコーダー特約付き保険が挙げられます。

先進的自動車保険を活用することで、保険会社から運転診断結果が取得できる高齢者が運転能力を把握することを通じて、より一層の安全運転が確保できるなどの効果が予想されます。ただし、利用者側からみた保険の利用効果等に関する研究報告は極めて少ない点があります。このため、当研究所の令和3年度の自主研究では、公益財団法人三井住友海上福祉財団研究助成を受けて、保険の利用者(高齢者15名)を対象としたインタビュー調査を実施しました。

今回の発表では、上記のインタビュー調査結果を踏まえて整理した先進的自動車保険の利用効果、問題点、期待内容等を皆様に報告したいと思います。

TTRI Toyota Transportation Research Institute

自己紹介

2009年3月 中国 同済大学交通計画学修士課程 修了

2014年9月 日本国 名古屋大学都市環境学博士課程 修了

2014年10月 公益財団法人豊田都市交通研究所 入社

研究分野: 交通計画学、交通経済学、交通情報工学

資格 ① 中国のソフトウェア設計エンジニア試験合格

② 日本国技術士(情報工学部門) 一次試験合格

研究内容: 交通事故、ヒヤリハットなどの様々な交通安全に係るビッグデータを蓄積・活用し、高齢運転者による事故が低減できるような研究に取り組む



図1 発表者の自己紹介